

船舶インシデント調査報告書

平成30年3月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成29年10月30日 07時20分ごろ
発生場所	石川県珠洲市長手埼北東方沖 長手埼灯台から真方位054° 27.4海里（M）付近 （概位 北緯37° 42.9′ 東経137° 49.8′）
インシデントの概要	貨物船XIN SHENG HAIは、航行中、主機の運転ができなくなって運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成29年11月6日、主管調査官（仙台事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 XIN SHENG HAI（ベリーズ籍）、8,667トン
船舶番号、船舶所有者等	9485617（IMO番号）、LIBERTY SHIPPING CO.,LTD
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍）、暫定締約国資格受有者承認証 船長（ベリーズ発給） 機関長（中華人民共和国籍）、暫定締約国資格受有者承認証 機関長（ベリーズ発給）
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風速 14m/s、視界 良好 海象：波向 西、波高 約2m、うねり 波高約3m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長及び機関長ほか16人（全員中華人民共和国籍）が乗り組み、韓国の浦項から富山県富山港に向けて航行中、能登半島東方沖において、平成29年10月30日07時20分ごろ、主機（8気筒）の6番及び8番シリンダの排気ガスの高温警報が鳴ったので、船長が直ちに主機を停止した。</p> <p>機関長は、6番及び8番シリンダのシリンダヘッドを開放したところ、両シリンダの吸気弁に腐食による欠損がそれぞれ生じているのを発見した。</p> <p>本船は、船長が海上保安庁に本インシデントの発生を通報した後、漂泊しながら乗組員による6番シリンダの修理が実施されたが、予備品が1シリンダ分しかなく、8番シリンダの修理を断念し、船舶所有者に部品の手配とえい航を依頼した。</p> <p>本船は、南東方に漂流し、陸岸に近づいたので20時10分ごろ、新潟県柏崎市柏崎港西方沖約5.4Mの場所に錨泊した。</p> <p>本船は、その後抜錨し、船舶所有者が手配した引船にえい航されて新潟県新潟市新潟港東区に入港し、11月2日13時ごろ東ふ頭1号岸壁に着岸した。</p>

	<p>本船は、船舶所有者が手配した主機の吸気弁等を受け取り、乗組員による修理が行われた。</p> <p>機関長は、本船に平成29年8月から乗り組んでおり、それ以前の主機の修理履歴等を把握していなかった。</p>
分析	<p>本船は、長手埼北東方沖を航行中、主機の吸気弁が腐食による欠損を生じたことから、吸気温度が上昇して排気ガスが高温となり、主機の運転ができなくなって運航不能となったものと考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、本船が、長手埼北東方沖を航行中、主機の吸気弁が腐食による欠損を生じたため、吸気温度が上昇して排気ガスが高温となり、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主機の各部を定期的に点検し、不具合があった場合にはすぐに部品等を交換すること。